

平成
27
年度

東京国立博物館 スクールプログラム



TOKYO NATIONAL MUSEUM 2015.4-2016.3



東京国立博物館スクールプログラムは、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、より深いものになるように工夫されています。博物館ならではの学習の醍醐味を感じていただけるはずです。

図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、キャリア学習、修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などにも活用してください。

※スクールプログラムの実施は、火～金の平日 10:00～17:00の間（年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く）



国宝「観楓図屏風」(部分) 狩野秀頼筆
室町～安土桃山時代・16世紀

東京国立博物館とは？

- ◆ 明治5年(1872)、日本で最初にできた博物館です。
- ◆ 収蔵品の数は11万件以上、国宝87件、重要文化財634件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(件数は2014年12月現在)。
- ◆ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時3000～4000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆ スクールプログラムに対応する展示館は全部で4つ。本館(日本ギャラリー)、東洋館(アジアギャラリー)、平成館(日本の考古、特別展)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)。すべてをまわるには一日あっても足りません。見学のポイントを絞ってお出かけください。
- ◆ 展示は特別展(実施していない時期もあります)と、当館のコレクションを中心とした総合文化展があります。スクールプログラムで扱うのは、おもに総合文化展の内容です。
- ◆ 見学には、最低でも60分は必要です。十分時間をとってご来館ください。

レクチャールームでの プログラム

パワーポイントの画像を見ながら話をします

鑑賞をより深めるために考えられたプログラムです。学校の授業や行事、児童・生徒の興味にあわせ博物館を楽しめるよう、4つのコースを用意しています。特別展開催期間は、あわせて特別展の見どころをご紹介しますことも可能です。プログラム終了後は自由観覧となります。

所要時間：プログラム30分＋自由観覧60分以上

参加人数：380名まで



博物館の概要と見学当日の見どころ案内

A はじめての東博

はじめて東京国立博物館に来館する児童・生徒のためのガイダンスです。本館を中心としたその日に見られるおすすめの展示作品や日本美術の楽しみ方のほか、博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナーなどを、当館ボランティアスタッフが紹介します。

鑑賞入門シリーズ

B はじめての東洋館

アジアの国々を旅するように、中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、エジプトなど東洋の美術、工芸、考古の作品、見どころをご紹介します。四大文明をはじめとする世界史の学習におすすめです。



パシェリエンブタハのミイラ 第22王朝・前945～前730年頃
エジプト エジプト考古庁寄贈



【重要文化財】青磁輪花碗 銘 馬蝗餅
中国・龍泉窯 南宋時代・13世紀
三井高次氏寄贈

C はじめての考古展示室

考古学って何？ 展示されているものはどんな場所からみつかり、そこから何がわかったの？ 縄文土器から江戸時代の発掘品まで、考古学のおもしろさ、見どころを解説します。

左：
【重要文化財】遮光器土偶
縄文時代(晩期)・前1000～前400年
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
右：
火焔型土器
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土



D はじめての仏教美術

仏像の種類、役割、特徴、制作の時代による違い、仏教絵画や仏具など、仏教美術の基礎を画像を使って解説します。法隆寺宝物館の展示作品を紹介しながら、法隆寺についてもお話します。京都・奈良などの修学旅行の事前学習に適したプログラムです。

左：
【重要文化財】大日如来坐像
平安時代・11世紀
右：
【国宝】龍首水瓶
飛鳥時代・7世紀 法隆寺献納宝物



博物館見学の前に

●ウェブサイトで博物館のことを調べてみよう

東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>

たとえばこんなことを調べてみましょう。いろいろな疑問がウェブサイトで解決できます。

開館時間や料金などについて →TOP≫来館案内
博物館の歴史、作品の数などのデータ →TOP≫東博について
その日に見られるもの →TOP≫右のカレンダーで来館日をクリック
博物館で見たものを、ウェブサイトで探してみよう

●持ち物を確認しよう

博物館で必要なもの、ちゃんと持ちましたか？

- ☐ 生徒証・生徒手帳
- ☐ 鉛筆(ボールペンやシャープペンシルは使えません)・ノート

●東京国立博物館の位置を確認しよう

上野公園には他にも美術館・博物館があります。

周辺地図

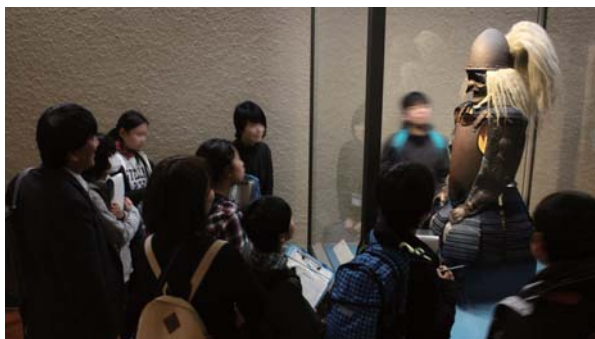


展示室での 作品鑑賞プログラム

時代もジャンルも幅広い東博の展示を鑑賞するためにいくつかの視点をお伝えするプログラムです。プログラム終了後は自由観覧となります。

所要時間：プログラム30分+自由観覧60分以上

参加人数：8名まで



じっくり見る東博

博物館研究員と一緒に展示室でほんものの作品を鑑賞するプログラムです。

生徒たちの興味・関心を引き出しながら、ひとつ(あるいは1テーマ)の作品をじっくり見る対話形式のプログラムです。グループで意見交換をし、いろいろな見方を通して、作品鑑賞の枠を広げてください。

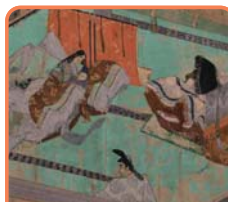
好きなテーマをひとつ選ぶことができます。



① 古代の造形
(土器、埴輪など考古遺物)



② いのりの美
(仏像など)



③ 日本の絵画
(浮世絵・屏風・襖絵・掛軸など)



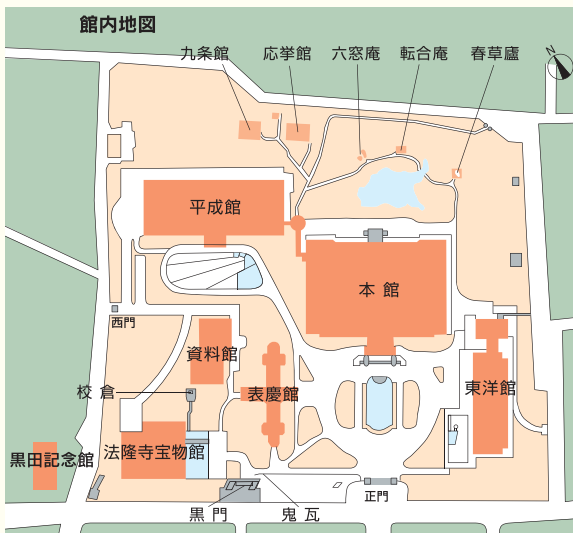
④ むかしのくらしと美
(陶磁・漆工品など工芸作品)

ワークシートを使って鑑賞

日本の伝統もようや季節感、昔の道具と現代の道具のつながりなどに注目しながらワークシートを使って、各自、展示室をめくってみましょう。事後学習にもお使いいただけます。ワークシートは当館ウェブサイトよりダウンロードすることも可能です。自由観覧のおともに、あるいはスクールプログラムと組み合わせてご利用ください。

※ワークシートの内容は変更の可能性があります。

東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>



博物館では

●じっくりゆっくりみてみよう

東京国立博物館には、たくさんの建物があり、つねに3000～4000の作品を見ることができます。好きな作品をみつけたら、いろんな方向からみてみよう。

●博物館からのおねがい

日本やアジアの文化財は、光や熱、湿気に弱いものが多いのが特徴です。また、汚したり虫の被害にあつたらいたんでしまいます。100年後、1000年後の人々に文化財を伝えるために、次のことに協力してください。

① 光・熱からまもる

作品をまもるために展示室は暗くしてあるので気をつけて。また、撮影禁止の作品・部屋以外は写真を撮ってOKですが、フラッシュは禁止です。

② 汚さないように

インクのでるペンは禁止。鉛筆を使おう。(シャープペンシルも禁止です)

③ こわさないように

大きな荷物、長傘は持ち込まない。触らない、走らない

④ 虫からまもる

飲食は決められたところで

ワークショップ

体験型のプログラムです

作品の取り扱いやものづくりを通して、日本の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作のきっかけとなり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

所要時間：

- A. プログラム 90 分以上 + 自由観覧 60 分以上
- B. プログラム 150 分以上（自由観覧時間を含みます）
- C. プログラム 60 分以上 + 自由観覧 60 分以上

参加人数：20 名まで

A 絵巻の取り扱い体験

絵巻は日本の伝統的な絵画様式のひとつですが、実際に見たことや、扱ったことのある生徒は多くありません。絵巻を自分で広げ、巻き取りながら見てみると、物語の流れるさまが実感できるでしょう。取り扱い体験を通じて、日本文化の伝統様式に触れるとともに、文化財を大切に扱うことを学び、文化財保護の意義を理解するためのプログラムです。日本画に使う材料を紹介することもできます（応相談）。



B 伝統もようのお皿づくり

展示作品を見学しながら、日本の伝統的な図柄やもようをみつけてスケッチし、それを陶芸用のサインペンで、お皿にデザインします。作品鑑賞を通して伝統もようを学び、お皿に表現することでデザイン力を身につけ、古美術に親しむことができます。部活動でもご利用ください。お皿は焼成後、後日郵送いたします（着払い宅配便使用）。

生徒の作品をご紹介します

展示室でみた作品をモチーフに、色合いを変えて描いてみました。



青磁染付水車文大皿
鍋島 江戸時代・17～18世紀

複数の着物のモチーフや、かんざしのもようをあわせてデザインしました。



C もようスタンプでデザインしよう

日本の伝統もようのスタンプを使って、ポストカードをデザインします。もようの意味や組合せを知り、配置の仕方を工夫してください。ワークショップを通して、展示作品に表されたもようやモチーフに、より興味をもつことができます。



キャリア学習のためのプログラム

自分の役割や生き方、働き方を考えるキャリア学習では、社会や職業の現場でのさまざまな経験から生まれる多様な気づきや発見が重要視されています。また、博物館の仕事を垣間みることがひとつ違う博物館の楽しみ方を教えてくれるかもしれません。プログラム終了後は自由観覧となります。

所要時間：プログラム 30 分 + 自由観覧 60 分以上

参加人数：A. 10 名まで B. 380 名まで

A 博物館の裏側インタビュー

博物館で働くようになったきっかけ、失敗談ややりがいはもちろん、博物館の仕事や運営について、博物館研究員に直接インタビューすることができます。訪問の際のマナーの確認などもできるでしょう。

博物館のいろいろな仕事を知らせてぜひ展示室へ。仕事のひとつである展示、お客様をお迎えするために働く人たちにも注目してください。

※1 週間前までに質問事項を FAX でお送りいただけます。



B 博物館の仕事ガイダンス

博物館の運営、役割、組織について、展示会ができるまで、展示室での文化財保護のための工夫など、通常の展示鑑賞では気がつかない博物館の仕事について画像を使ってお話します。どんな人たちがどんな仕事をしているのか、どのように協力し合っているのかを知りたい方に最適です。プログラム A(博物館の裏側インタビュー)と組み合わせることもできます。



休館日の展示替え



作品の調査の様子

職場体験の受け入れも実施しています

各学校におけるキャリア教育の一環として実施される職場体験の受け入れを行っております。

当館のボランティアとともに、お客様案内、簡単なアクティビティの運営の補助など、特にお客様サービスに係る仕事を体験します。

さまざまな来館者に接することで、国際性を養い、コミュニケーション力を高めることができます。さらに、ボランティアとともに活動することにより、異世代間交流もはかれます。また、展示室では日本や東洋の古美術や伝統文化を身近に感じることができます。皆さんのキャリア学習にぜひお役立てください。



【受け入れのガイドライン】

活動日時：火～金 平日 10:00～17:00

(ただし、休館日、お盆、年末年始期間など、実施できない期間もあります)

活動期間：連続した 2～4 日間

対象：中学生・高校生

受け入れ人数：1 日につき 4 名まで

※事前申込制(先着順)。

別途、詳細案内と申込書を用意しております。

まずはお電話で日程をお問い合わせください。

(平成27年度の受付は4月7日(火)から開始)

※学校団体以外からの申し込みはお断りします。

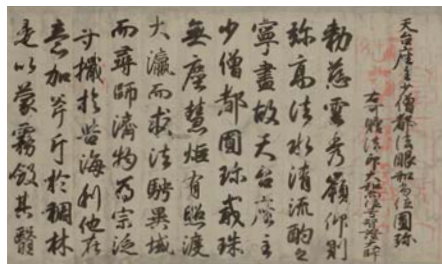
※事前学習として、博物館から課題を出します。

職場体験のお問い合わせ、申し込みは当館博物館教育課ボランティア室まで。

TEL：03-3822-1111(代表)

東京国立博物館は、教科書でおなじみの“あの作品”があるところ

作品保護のため頻繁に展示替えを行っており、展示期間は限られています。
展示期間の変更もありますので、ご来館日の展示作品については、あらかじめウェブサイト等でご確認ください。



● 国宝 円珍贈法印大和尚位並智証大師諡号勅書(部分)
小野道風筆 平安時代・延長5年(927)

1000年以上むかしに活躍した書の達人・小野道風の作品です。



● 国宝 秋冬山水図 雪舟等楊筆
室町時代・15世紀末～16世紀初

雪舟も、雪舟が描いたこの作品も、知っている人は多いはず。

● 重要文化財 縫箔紅白段短冊八橋雪持柳模横
安土桃山時代・16世紀

鑑賞教室でおなじみの能の衣装。
近くで見ることができるのは、博物館だから。



● 見返り美人図(部分) 菱川師宣筆
江戸時代・17世紀

浮世絵のなかでも非常に有名な作品のひとつ。



● 重要文化財 老猿
高村光雲作 明治26年(1893)

近代彫刻の代表作。
表情、毛並み、姿勢など見どころも多い作品です。



● 国宝 片輪車螺鈿手箱
鎌倉時代・13世紀

金色の箱に浮かび上がる車輪のもよう。
近づくと、車輪が貝殻で表されているのがわかるのでは？



● 重要文化財 伝源頼朝坐像
鎌倉時代・13～14世紀

鎌倉幕府を開いた源頼朝だといわれる像。



● 重要文化財 色絵月梅図茶壺
仁清 江戸時代・17世紀

野々村仁清の代表作。
月に照らされた梅を見事に立体の壺に描いています。



● 重要文化財 麗子微笑
岸田劉生筆 大正10年(1921)
「モナ・リザ」にヒントを得たという印象的な作品です。

● 重要文化財 紺糸威南蛮胴具足
安土桃山時代・16世紀

関ヶ原の合戦の直前に家康から
武将・榊原康政に授けられたといわれています。



● 火焰型土器
縄文時代(中期)・
前3000～前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土

誰もが教科書で見たことのある、
あの土器。ほのおのように見えますか？

学校の先生方へ

ご来館をご検討の際に

●博物館について知りたい場合

当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)をご覧ください。

また、年に数回、学校の先生方を対象に、展示の見方や博物館利用についての研修を開催しています。

当館ウェブサイト(TOP≫教育≫学校の先生方へ)で案内しますのでご覧下さい。

●下見をご希望の場合

開館時間中、総合文化展のみ無料で教育活動のための下見ができます。

入館は閉館の30分前までですのでお気をつけください。

ただし、特別展は別途料金が必要です。

●問い合わせ先

教育普及室(TEL:03-3822-1111 代表)までお問合せください。

ご来館が決まったら

●自由観覧を希望の場合

事前予約は特に必要ありませんが、混雑状況をもとに入館時間や

観覧方法についてアドバイスさせていただく場合もありますので教育普及室までご連絡ください。

●スクールプログラム受講希望の場合

事前予約制(先着順)です。以下の手順で手続きをお願いします。平成27年度の受付は平成27年2月10日(火)より開始します。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 来館 10 日前まで
電話問合せ | ▶ 来館希望日時、人数、学習内容などを伺います。予約状況を確認し、ご希望に近いコースなどをご提案します。 |
| 2 来館 1 週間前まで
申込書提出 | ▶ 巻末の申込書をファックスでお送りいただくか、当館ウェブサイトのフォームに入力し、申し込みをお願いします。受領先着順で受け付けます。先に予約が入っていた場合、お断りすることがあります。 |
| 3 書類提出後
博物館から電話連絡 | ▶ 教育普及室より、スクールプログラム実施の可否等について連絡をします。これで予約完了です。 |
| 4 来館 1 週間前
確認の連絡 | ▶ 集合場所、時間などについての最終確認をします。児童・生徒、他の先生方にもご周知ください。 |
| 5 来館当日
スクールプログラム受講・自由観覧 | ▶ 到着遅延の場合は必ずご連絡ください。最終確認の内容に従ってご入館ください。ご到着時に児童・生徒、教員の人数の確認をさせていただきます。 |
| 6 後日
事後アンケート | ▶ 今後のスクールプログラムに活かすため、ご意見、ご感想をお聞かせください。 |

〔開館時間〕

9:30～17:00(入館は16:30まで)

特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、土曜、日曜、祝日、休日は18:00まで開館することがあります。(入館は閉館の30分前まで)

〔休館日〕

月曜日(ただし月曜日が祝日または休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始。2015年6月23日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

※ゴールデンウィークとお盆期間中は原則無休。

※開館時間等は予告なく変更されることがあります。最新情報等は、当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)でご確認ください。

よくある質問

◎料金について

入館料について

総合文化展は、高校生以下無料です。ただし、生徒証・生徒手帳の確認をいたします。また、学校の教育活動で来館された場合、およびその下見は、先生も無料です。

特別展観覧料は別途お問合せください。

スクールプログラム参加費について

原則として無料です。

◎バスの駐車について

有料駐車場があります。お問合せください。(要事前予約)

◎展示について

総合文化展は文化財保護のため、頻繁に展示替えを行っています。目的の作品が必ず見られるとは限りません。あらかじめ当館ウェブサイトでご確認ください。

◎障がいをもつ児童・生徒への対応について

特別な支援が必要な児童・生徒の皆様にも多くご来館いただいています。まずは教育普及室にご相談ください。どんなことができるか、先生と一緒に考えたいと思います。当館ウェブサイト「バリアフリー情報」も参照ください。

平成27年度東博スクールプログラム申込書



申し込み受付期間：平成27年2月10日～平成28年3月24日

平成 年 月 日

東京国立博物館
教育普及室 宛

TEL:03-3822-1111(代表) FAX:03-3822-3010(FAX専用)

入館時間	時	分	
来館日時	月	日	曜日
プログラム開始時間	時	分	
出発時間	時	分	
※火～金の平日、10:00～17:00			

(ふりがな) 学校名	学年	年
(ふりがな) 先生の名前	先生	
(ふりがな) 代表生徒名 *引率がない場合必須		
学校の住所 (〒 -)		
電話番号	FAX番号	

人数：生徒	人	+	引率教員	人	+	その他	人	=	合計	人
(保護者・添乗員、入館有料)										
スクールプログラム参加の目的	1. 遠足・社会科見学 2. 修学旅行 3. 各教科の学習(科目：) 4. 総合的な学習の時間 5. クラブ活動(部) 6. その他()									

スクールプログラムコース(全13コースの中からひとつを選び、○をつけてください)

1 レクチャールームでのプログラム

- A はじめての東博 B はじめての東洋館 C はじめての考古展示室
D はじめての仏教美術

2 展示室での作品鑑賞プログラム

じっくり見る東博(下記から希望のテーマを選んでください)

- ① 古代の造形(考古) ② いのりの美(仏像) ③ 日本の絵画 ④ むかしのくらしと美(工芸)

3 ワークショップ

- A 絵巻の取り扱い体験 B 伝統もようのお皿づくり C もようスタンプでデザインしよう

4 キャリア学習のためのプログラム

- A 博物館の裏側インタビュー B 博物館の仕事ガイダンス

ご希望： ☐ 特別展の見学 (展覧会名：)

☐ 事前打ち合わせ(月 日 時 分～)

*下見にはお申し込みの必要はありません。
正門で手続きの上、ご入館ください。

*各プログラムに参加されるための必要滞在時間を満たしているか、ご確認ください。

*先着順で受付しています。先に予約が入っていた場合、お断りすることがあります。

*空き状況に関わらず、1週間前で締め切ります。



東京国立博物館

TEL:03-3822-1111(代表) FAX:03-3822-3010

URL <http://www.tnm.jp>